

審査員からのコメント

自発的に取り組むフードドライブ～地域と連携した食料支援～

本作品は、生活困窮者のためのフードドライブを立ち上げ、実際に余剰食品の収集活動を実践しながら、活動の到達点と課題をまとめたものである。回収場所の検討、インスタグラムによる周知、ポスターの制作など、高校生たちなりの工夫を凝らして、累計約194kgもの余剰食品を収集することに成功している点、そうした活動の成果を積極的に発信している点を高く評価することができる。ただし、余剰食品を収集する際の課題についていっそう高い次元で明確化できると、活動の意義がより引き立ったのではなかろうか。また、フードバンクを必要とする人たちに向き合い、相対的貧困の解消をめざす研究へと発展させていく余地も感じた。今後の活動に期待したい。

